



## ホットニュース Hot News

### ◎雑誌カバーに広告を掲載しませんか？

雑誌の購入代金相当額を負担することで、企業・商店・団体などのPRができます。

- ▶ 募集期間=1月5日(金)~2月25日(日)
- ▶ 掲載期間=4月~令和7年3月の1年間
- ▶ 広告1枠の規格=

- ①カバー表面(縦7cm×横14cm)、②カバー裏面(A4サイズ未満※雑誌の大きさによる)、③雑誌架



(縦15cm×横21cm)

- ▶ 設置場所=各図書館雑誌コーナー
- ▶ 申込方法=申込書に必要書類を添付の上、中央図書館に直接または郵送にて/希望する雑誌は、図書館が提示する雑誌リストから選定

申込書や必要書類など詳しくはこちら▶



▲雑誌コーナー



### もっとおいしい紅茶を飲みたい人へ

田中哲/著 主婦の友社

どれを選べばいいかわからない、そんな人におすすめ。スーパーでも買える身近な紅茶から始めてみませんか。



### こたつ

麻生知子/作 福音館書店

こたつがある生活、大晦日から新年を迎える家族のわくわくする気持ちや温かさが、なんだか懐かしくなる絵本です。

## History Inquiry Club 眞の237 歴史探訪クラブ

文化財課(博物館) ☎22-1720  
 吉胡貝塚資料館 ☎22-8060  
 渥美郷土資料館 ☎33-1127



博物館HP



博物館インスタグラム

### 今も昔も大事なペット

以前、歴史探訪クラブ127号(平成23年10月5日号)で、縄文人と犬が仲良しの関係だったことをお伝えし、反響がありました。伊川津貝塚の調査では41頭の縄文犬の墓が見つかっており、日本でも有数の犬を飼っているムラだったようです。

さて、その縄文犬にまつわる大発見がありました。伊川津貝塚の縄文犬の墓から、貝で作られたアクセサリー(貝玉)が日本で初めて見つかりました。犬が付けたものか、あの世に旅立つ犬に持たせたものかはわかりませんが、飼い主の縄文人が犬に特別な思いを持っていたことは間違いありません。



▲見つかった貝のアクセサリー(左)と復元品(右)



▲歴史探訪クラブ127号はこちらから

この貝玉は巻貝で、ひとつは後ろ側を削って穴を開け、もうひとつは傘のような体層部と呼ばれる側面を削って穴が連続して見えるようにしたものです。この2種のアクセサリーは、関東地方でも見つかりますが、「犬のため」とは聞

いたことがありません。豪華な素材ではないですが、便利な道具もない当時、愛犬のためにコツコツと貝を加工する縄文人の姿を思うと、実に微笑ましいです。

犬は主に狩りのパートナーとして大事な家族であったというのが定説ですが、人間と同じように貝のアクセサリーと一緒に墓に入れるとは、渥美半島の縄文人は本当に犬を大切にしていたようです。

さあ、新しい年を迎え、縄文人に負けぬよう、愛犬とともに散歩にでも出掛け、犬との時間を楽しんでみてはいかがでしょう。(学芸員 増山禎之)



▲縄文犬の復元図(体の高さ40cmくらいで口元ががっしりしている)